

薬剤部だより No.238

山口大学病院薬剤部 2009.11.16



手術部に薬剤師が半日常駐します

11/11から手術部における薬品管理を開始しました。午前中に薬剤師が1名専任で上がっています。麻薬をはじめ毒薬・向精神薬等の適正使用に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

リレンザのオーダー入力が可能となりました

院内感染対策委員会からの要請により、11月3日からリレンザのオーダー入力が可能となりました。外来患者への吸入指導が必要な場合は、コメントにてその旨をご入力下さい。

お薬手帳用シールの配布を開始しました

薬剤部だよりNo.237でお知らせしましたようにお薬手帳用シールの配布を、薬剤部窓口にて開始しました。希望された外来患者が対象となります。時間外処方に関してはお薬と一緒にシールをつけて払い出しますので、病棟でもご利用下さい。

ファンギゾンシロップについてのお知らせ

ファンギゾンシロップの供給停止について薬剤部だより No.234でお知らせしていましたが、まだ供給再開の目途が立っていません。今年一杯で在庫なくなる見込みで、その後はオーダー不可となります。同種同効薬への変更等早めに御検討下さい。

フェンタニル0.25mg製剤が追加されます

フェンタニル注の1人当たりの使用量が増えてきているため、この度0.1mg製剤に加え0.25mgの規格を追加することになりました。これによりアンプルカットの本数も減少できます。12/1からオーダー開始予定ですので、オーダー時には規格の選択に十分ご注意下さい。

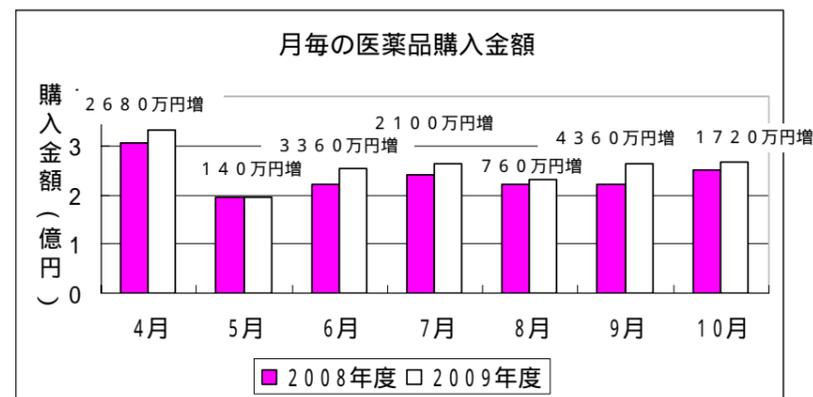
注射用メソトレキセート5mgのオーダー12/1から再開

異物混入により昨年10月から「注射用メソトレキセート5mg」の供給が停止されていましたが、この度供給が再開されることになりました。12/1からオーダー可能となります。

ります。50mg製剤を5mg製剤の代わりにオーダーしていた科はご注意下さい。

医薬品購入金額が増加しています

医薬品の購入金額が昨年度と比べて増加しています(下図参照)。7ヵ月間の総購入額は約1億5千万円増加になっています。年度末に予算が足らなくなるように、より一層の適正使用にご協力お願い致します。



注射薬処方箋がB5からA4に変わります

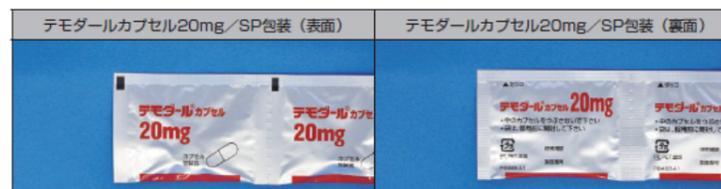
現在、薬剤部から送られる注射薬処方箋はB5サイズの用紙に印刷されていますが、業務の効率化とランニングコスト削減のため、A4サイズに変更します。また、控え印刷も正と同様の青色にし、「控え」の文字のみピンク色とします。

新たな薬物血中濃度測定機器が納入されます

11/26に薬物血中濃度測定機器(アーキテクト i1000SR)が新たに納入されます。テスト運用を終了し、導入開始となりましたら改めてお知らせ致します。本機購入にご尽力頂いた病院長をはじめ関係各位に感謝致します。

テモダールカプセル包装変更のお知らせ

テモダールカプセルがビン包装からSP包装(下写真)に変更される予定です。



100mg製剤も同様です

削除薬のお知らせ

ペチロルファン注(麻)、デトルシールカプセル2mg、ビスフォナール、ブリカニールシロップが削除になりました。またIFN- は製造中止のため、在庫限りで削除します。